

# おち町

議会だより OCHI TOWN

No.90

2009年11月1日発行  
高知県越知町議会



実りの秋、おいしいお米ができました

## 高速通信網を整備

21年度一般会計3億258万円を補正 ..... 2

平成20年度決算 歳出総額61億5277万円 ..... 4

まちの健康状態をチェック (財政健全化審査) ..... 6

政権交代の今後と経営難の(株)ソニア (一般質問) ...10

パステル画で心のいやし (伊藤教室:6区) .....14

# 3億258万円を補正

## 高速通信網の整備に1.2億円

9月定例会は、11日から15日までの会期で行い、町長から平成20年度の財政健全化比率と資金不足比率の報告（6次参照）を受け、平成20年度の各会計決算（4次参照）を全会一致で認定。平成21年度一般会計および特別会計の補正予算、条例改正、町道の路線認定など8件を全会一致で可決しました。

### 黒森山24ヘクタールを200万円で購入

#### 総務費

人事異動や昇格、育児休業取得者分減額などにより、給料、職員手当等一般会計総額で131万円の減額。財政調整基金積立に1245万円。  
黒森山の山林購入費に200万円。  
町内ブロードバンド化（高速情報通信網整備）に1億2600万円など。

### ブロードバンド化（高速情報通信網整備）の概要

現在、ブロードバンド化されている地域は、町中心部の半径約4kmの範囲に限られており、その他は通信機能が非常に遅いか、通信できない地域となっており、情報通信の格差が生まれている。

それを解消するためブロードバンド化を図り、町内全域で高速インターネットができるようにする。

#### 整備内容

野老山、横島、明治地区は、野老山小と明治中学校まで県の情報ハイウェイによる光回線が備わっており、それを利用して、地域内に中継局（64カ所予定）を設けて無線通信する。

大桐、南国地区は、衛星ブロードバンドに接続して無線通信する。



よう来たねえ、まあ休んでいきや（横島清水）

### グループホームにスプリングクライ

#### 民生費

災害時の要援護者見守り体制を整備するための調査に412万円。小規模福祉施設「グループホーム里山うらら」にスプリングクライを備えるための補助金など。

### 地震や台風は不安

#### 岡林学議員

災害時の見守り体制の調査内容は、

#### 藤原住民課長

社会福祉協議会に委託して、3人を雇用して、災害時に支援が必要な方の実態を調査して台帳を作る。

支援する世帯には、緊急時の連絡先などをまとめた「お守りカード」を電話の近くなどに備える。

### 農林水産業費

山室へのレンタルハウス補助金765万円。農道および農業施設の整備工事に1712万円。林道落石防護工事に940万円など。

### 水の管理は怠らない

#### 藤原俊夫議員

柴尾農業用施設改修と清水ため池修繕工事の内容は。

#### 小田産業建設課長

柴尾は、水田の揚水ポンプの操作盤と逆止弁を取り替える。清水のため池は、漏水のため、防水シートを張り替える。

### おいしくミラを栽培

#### 寺村晃幸議員

レンタルハウス補助金の場所は。

#### 小田産業建設課長

山室のニラ栽培への補助。面積は1350平方メートル。

# 放課後学習に アドバイザー

## 教育費

小中学生ハイヤー輸送委託、パソコン1台購入。  
越知中学校の放課後学習のため備品購入費94万円と学習アドバイザー報酬費27万円など。

## 活発なクラブ活動

### 斎藤政広議員

ハイヤー輸送は当初予算化していたが、新たに発生したのか。

### 山中教育次長

当初は小・中一緒に通学する予定だったが、中学生がクラブ活動のため一緒に通学できなくなった。

## 放課後も勉強がんばる

### 岡林学議員

越知中学校の放課後学習の内容は。

### 山中教育次長

中学3年生を対象に、2人のアドバイザーを付けて、平日は1日1時間で80日間、冬休みは5日間で1日3時間の学

習を行う予定。

購入する備品は、机、椅子、時計、エアコン、扇風機、デジタルテレビ、DVDプレーヤーなどで、全額県の補助金。

## 越知駅跡地 整備始まる

### 商工費

情報ステーションおち(仮称)の建設工事に1896万円など。

### 衛生費

佐之国の水道施設改修工事に1411万円など。

### 消防費

佐之国への消火栓新設工事に89万円。

### 大川信輝議員

宝くじ助成事業収入の723万円減額の理由は。

### 小田産業建設課長

情報ステーションおちの整備として3024万円を予定し

ていたが、施設内のトイレが基準より大きくなり、補助の対象から外れるため減額する。

## 飲み水は欠かせない

### 藤原俊夫議員

佐之国の水道施設は修繕か、新設か。また、消火栓との関連は。

### 小田産業建設課長

佐之国の本村地区と南谷地区に飲料水を安定して供給するため、両地区の給水施設を一本化して新しくする。

### 大原総務課長

佐之国の消火栓は、水道工事に並行して行う。

## 土木費

町道の市街地側溝清掃委託に205万円。町道の改良・落石防護・修繕工事などに4370万円。残土処理場の用地購入に386万円など。

## 落石に気をつけて

### 西川晃議員

今成深瀬線の落石防護工事の内容は。

### 小田産業建設課長

今成トンネルから小浜方面の危険な個所で、55㍍の間をロックネットで施工する。



落石の危険性が非常に高い(小浜)



ゆつくりと花馬車でコスモス園を巡る

## 特別会計

### 国民健康保険

高額療養費に1300万円。出産育児一時金に172万円。後期高齢者支援金に1126万円など。

### 老人保健

過年度の精算による返還金1301万円。

### 介護保険

過年度の精算による返還金1143万円など。

## 9月補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	3億0258万円	45億5976万円	
特別会計	国民健康保険	4300万円	8億2291万円
	老人保健	1301万円	1720万円
	介護保険	1183万円	9億1399万円

# 歳出総額 61億5,277万円

歳出総額には一般会計から特別会計への繰出金(4億520万円)が重複しています。

平成20年度の各会計決算並びに基金の運用状況は、9月定例会で審議し全会一致で認定しました。

## 監査委員意見書(要旨)

池裕生・寺村晃幸

決算関係書類は法令に基づき作成され、その計数は概ね正確で、予算の執行および事務の処理は適正に行われている。

財政健全化比率および資金不足比率は適正で問題はない。〔6頁参照〕

## 普通会計 16年度以来の増額

歳入・歳出総額は、19年度に比べ約8億9000万円減額したが、老人会計が後期高齢者医療会計(広域事務組合)制度に移行したため、普通会計ベースでは平成16年度以来の増額決算となっている。

収入未済額は総額で19年度比286万円減額だが、不納欠損額が414万円増額しており、一層の徴収努力が望まれる。

## 基金(貯金)総額は増

町債(借金)残額は2億5395万円減額し、基金(貯金)残高が9767万円増額は良い傾向である。財政調整基金は4441万円増額、施設等整備基金は6363万円増額。

### 下水道会計

## 住民意識の改革で 加入率向上を

繰入額が19年度に比べ1516万円増額し、事業収入額の3.5倍は注意を要する。下水道加入率は47.7%と横ばい状態であり、加入率を上げるための住民の意識改革が課題である。少なくとも50%以上の達成を図らねばならない。

### 水道会計

## 部品調達は短時間で

未収金・特別損失(不納欠損)が共に19年より減ったことは、計画的な業務遂行と徴収努力の表れである。配水本管損傷による漏水修理は1日でできたが、部品の調達に1週間を要しており、時間短縮を望む。地震時などの施設災害を想定した対応マニュアルの作成と訓練の実施を望む。

### 国保会計

## 時効で12人の欠損処分

収入未済額は397万円減額だが、不納欠損額が20万円(19年度)から295万円(20年度)に増額している。主な理由は12人の時効による欠損処分である。

### 用語解説

#### ●普通会計

一般会計に、土地取得・蚕糸資料館・横倉山自然の森博物館の3事業特別会計を加えた会計。

#### ●不納欠損額

予定した収入が納められず、時効成立などの理由で徴収できずに欠けてなくなる金額。

#### ●収入未済額

予定した収入のうち、出納閉鎖日(5月31日)までに入金されなかった金額。

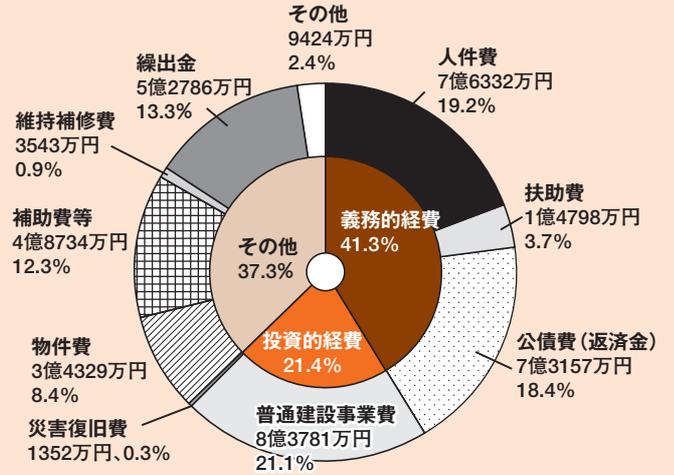
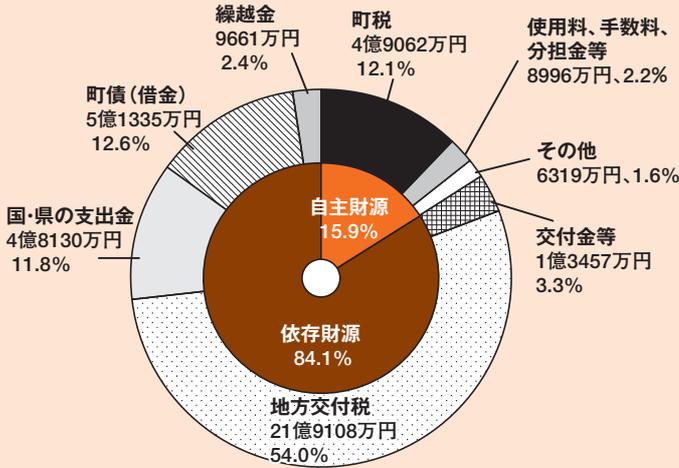


決算審査に関連して、工事の完成状況や購入備品の管理状況などを調査

# 20年度一般会計決算の内訳

歳入 40億6068万円

歳出 39億7336万円



## まちの財政力 通信簿

区分 年度	財政力指数 (3カ年平均)	経常収支比率	実質公債費比率 (3カ年平均)
18年度	0.20	94.1%	17.9%
19年度	0.20	95.2%	16.4%
20年度	0.20	93.3%	16.1%
説明	行政が必要となる費用をどれだけの自前で調達できるかを示す値。1に近いほど財政に余裕がある。	人件費や物件費などの経常的な経費が一般財源に占める割合。90%以上は危険域とされている。	町の収入に対する借金返済の割合。18%を超すと借金が許可制になり、25%を超すと単独事業は制限される。
分析と課題(比較数値は19年度決算による)	人口減少、全国平均を上回る高齢化率、町に中心となる産業がないなど、財政基盤が弱く、類似団体平均(0.53)をかなり下回っている。組織の見直し、歳出の徹底的な見直し等を図る必要がある。	1) 全国平均(92.0)、類似団体平均(89.1)を上回り、危険域に入っている。行財政改革の取り組みにより、さらなる経常経費、義務的経費の削減に努める必要がある。	類似団体平均(14.9)を上回っている。18%に近く、引き続き緊急性、公共性の観点より事業の選別を徹底し、起債に大きく頼ることのない財政運営に努めなければならぬ。

## 20年度歳入歳出決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	40億6068万円	39億7336万円
特別会計		
簡易水道	1302万円	1293万円
国民健康保険	8億6904万円	7億8717万円
老人保健	1億4739万円	1億3648万円
下水道	1億8654万円	1億8646万円
土地取得	23万円	23万円
蚕糸資料館	29万円	21万円
自然の森博物館	2294万円	2294万円
介護保険	9億3007万円	8億8785万円
後期高齢者	9664万円	9655万円
企業会計(水道事業)	5119万円	4857万円
合計	63億7803万円	61億5277万円

### 決算質疑

**大川** 不納欠損額が増えているが。

**税務課長** 差し押さえなども行い、悪質なものは債権管理機構に委託しているが、納められないものは、資産の調査なども行い適正に処理している。

**斎藤** 税金の収納率と債権管理機構の収納率は。

**税務課長** 20年度において、町民税は97.8%、固定資産税は98.9%、軽自動車税は97.5%、国保税は95.6%。  
債権管理機構の収納率は、18年度92.6%、19年度63.4%、20年度33.2%となっている。

**山橋** 水道の部品調達に時間を要した理由と地震対策は。

**環境水道課長** 保存できる部品ではなく、発注してから製作に1週間を要した。地震対策は、国の補助事業を活用して対策を図りたい。

# 状態をチェック



遠足で大勢の生徒さんが訪れた（宮ノ前公園）

9月定例会では、平成20年度決算について、財政健全化の判断比率が町長から報告されました。いずれも健全化基準を下回っていますが、依然として町の財政状況は厳しく、引き続きこの指標を注視し、健全な財政運営を維持しなければなりません。

## 財政健全化判断

指標	健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準	審査結果
	19年度	20年度			
①実質赤字比率	—	—	15.0%	20.0%	赤字なし
②連結実質赤字比率	—	—	20.0%	40.0%	赤字なし
③実質公債費比率	16.4%	16.1%	25.0%	35.0%	基準以下
④将来負担比率	55.6%	51.9%	350.0%		基準以下

本町の、健全化判断の実質赤字比率と連結実質赤字比率は生じていない。実質公債費比率は16.1%、将来負担比率は51.9%で、いずれも健全化基準を下回っている。

### 財政健全化計画 イエローカード

上の表①～④の指標で健全化判断比率が一つでも基準値を超えると外部監査により「財政健全化計画」を定めなければならない。  
計画は、財政悪化の原因

### 財政再生計画 レッドカード

指標が財政再生基準を上回ると健全化段階よりさらに悪化した状態となり、その年度末までに「財政再生計画」を定めなければならない。

分析や指標が基準を下回るための期間、赤字解消の対策、早期健全化の基本方針などを作り、それらを達成するための取り組みを示さなければならない。

計画の策定は健全化計画より厳しく、早期健全化基準未達を指標の目標とし、事務事業の見直しや組織の合理化、使用料・手数料・税率などの引き上げによる増収計画を立てなければならない。

健全化計画の策定や変更は、議会の議決と住民への公表、国・県への報告が必要。計画の実施状況によっては国からの勧告もある。

地方債（借金）が制限され、収支不足を補うための借金（再生振替特例債）は再生期間内に償還が必要で、総務大臣の同意、許可、勧告などの関与があり、国の管轄下に置かれる。

# まちの健康

## 経営健全化判断

会計名	資金不足比率		経営健全化 基準	審査結果
	19年度	20年度		
水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし
簡易水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし
下水道事業	—	—	20.0%	資金不足なし



下水道加入率の向上で健全な経営を期待「浄化センター」

### 公営企業の経営の健全化

本町の公営企業の経営健全化判断は、公営企業法適用の水道事業と、法非適用の簡易水道事業・下水道事業が対象で、各会計の資金不足額は生じていない。

資金不足比率が基準を超えると、資金が不足した原因の分析、指標を基準未滿にする方策や期間、年度ごとの見直しなどの健全化計画を作り、議会の議決、住民への公表、国・県への報告が義務付けられる。

### 用語解説

#### ● 標準財政規模

自治体が標準的な状態で収入が見込まれる一般財源の規模。20年度はおよそ27億4285万円。

#### ● 実質赤字比率

普通会計（一般・土地取得・畜系資料館・自然の森博物館）の収入と支出を差し引いた額の標準財政規模に対する割合。

#### ● 連結実質赤字比率

町のすべての会計の赤字と黒字の差額の標準財政規模に対する割合。

#### ● 実質公債費比率

町の収入に対する借金返済額の3カ年平均の割合。18%を超すと起債（借金）は許可制になり、25%を超すと単独事業の借金は制限される。

#### ● 将来負担比率

借金の返済額や将来的に背負う借金、一部事務組合や第三セクターなどへの負担額などから、町の貯金や借金返済のための補助金や交付税を差し引いた額を、標準財政規模から交付税の借金返済に充てる分を差し引いた額で割った値。

#### ● 資金不足比率

公営企業の資金の不足額（赤字）が事業規模に対してどの程度あるかを示す比率。

# お産の一時金42万円

本年10月から平成23年3月まで



## 出産一時金を増額

本年10月から平成23年3月までに限り、出産育児一時金を4万円引き上げ39万円とする。また、産科医療保障制度に加入している分娩機関（県内はすべて加入）で出産した場合は、3万円が加算され実質42万円となる。

また、出産した方の世帯主が一時金の受取申請をして費用を支払うことをやめ、町が直接医療機関に支払う。

実際の出産費用が一時金より少ない場合は、その差額は世帯主に支払う。

(10月1日施行)

(賛成・全員)



明るくたのしく保育園運動会

## 小学校卒業まで医療費が無料

乳幼児の医療費助成を、小学校就学前まで行っていたが、小学校卒業まで拡大し、通院、入院とも無料とする。

システムの改修と医療費の補正予算は6月定例会で可決している。

(10月1日施行)

(賛成・全員)

## 町道の認定 (賛成・全員)

路線名	道路延長	道路幅員
宮ヶ奈路水道線	247.0m	2.8~5.6m
浅尾1号線	181.5m	2.5~16.8m

## 意見書

3件とも全会一致

### 家族労賃を必要経費に

提出者 斎藤政広議員  
所得税法第56条では、家族従業員は、必要経費として認められず、家族を手伝いたくても手伝えないことが、後継者不足に拍車を掛けている。

世界の主要国では、自家労賃を必要経費としており、家族従業員の人権保障の基礎を作るためにも、所得税法第56条の廃止を求める。

【提出先】総理・財務・法務の各大臣

### 支障のない予算執行を

提出者 大川信輝議員  
経済危機の克服のための平成21年度予算および補正予算が前政権で可決しており、各自治体は事業の計画

と執行を目指している。

万一、新政権によって予算執行が見直され、関係事業が中止されれば、地方自治の混乱を招き、雇用情勢にも深刻な打撃を与え、日本経済に悪影響を及ぼす恐れがある。

政府においては、政策・制度の変更で、地方自治体の事業に支障が生じないよう強く求める。

【提出先】総理・総務・財務の各大臣

### 核兵器の廃絶を

提出者 藤原俊夫議員  
非核三原則を守り、2020年までに核兵器の廃絶と非核兵器地帯条約の実現に努力し、特に北東アジア非核兵器地帯構想を早急に検討すること。

核拡散防止条約(NPT)の遵守と加盟促進、包括的核実験禁止条約(CTBT)の早期発効などに全力で取り組むこと。

【提出先】衆参両院議長および総理・外務の各大臣

# 2億4076万円を補正

### 国・県の補助金1億6880万円

8月臨時会は10日に開き、21年度一般会計補正予算2億4076万円（総額42億5717万円）を全会一致で可決しました。

## 今成深瀬線・筏津線など 国の交付金事業で着手

### 土木費

国の交付金事業として1億1931万円（うち国庫補助金7670万円）。内容は、町道今成深瀬線の測量設計委託および局部改良工事。町道筏津線改良工事。越知今成線、鎌井田桑敷線など5路線の修繕工事など。

### 山橋正男議員

交付金事業の職員給料の内容は。小田産業建設課長 事業に伴う国の補助金を職員3人の7カ月分に充てる。

### 武智龍議員

今成深瀬線の工事内容は。

### 小田産業建設課長

小浜から柚ノ木まで約4<sup>キロ</sup>の間で、車の行き違いなどに支障がある4カ所を局部改良する。

### 岡林幸政議員

今成深瀬線の委託費は5262万円と高額だが。

### 片岡副町長

用地買収のための測量面積が広く多額となるが、基準に基づいた積算である。

### 小田産業建設課長

筏津線分岐から柚ノ木間の約2100<sup>メートル</sup>の測量設計を委託する。



改修される農協の生姜貯蔵庫

## JACコスモス生姜貯蔵庫整備へ 3441万円の補助金

### 農林水産業費

JACコスモスの生姜用貯蔵施設の整備のため3441万円（うち県補助金2294万円）の補助金。林道小白浦線、栃ノ木線、京塚線等法面改良および舗装工事に8100万円（うち国・県補助金6612万円）。

### 寺村晃幸議員

林道栃ノ木大平線の舗装は、勾配が急な所はどうするか。

### 片岡副町長

勾配が急な所は滑り止めの工法を検討する。

### 大川信輝議員

林道京塚線の法面改良の内容は。

### 小田産業建設課長

延長40<sup>メートル</sup>で、山側を特殊モルタルで施工する。

### 衛生費

子宮頸がん、乳がん検診に104万円（全額国庫補助金）。

### 商工費

桐見川への鮎放流委託に50万円。

### 寺村晃幸議員

鮎の放流は今後も続けるか。

### 小田産業建設課長

鮎が少ないと要望があり応急的に放流する。今後も続けたい。

政権交代

# 予算凍結による本町への影響は膨大な公約の実現に疑問／町長



おかわ のぶき 議員  
大川 信輝

てなど膨大な公約を掲げているが、実現には疑問もある。国への要望は、今までどおり県選出国会議員とともに活動する。

手厚い政策の反面、扶養控除の廃止など、痛みを伴うものもあるので、今は何とも言えないが、地方には厳しい展開になるのではないかと思っている。

事業査定の見直しは、今までも申し入れている。県も知事を筆頭に強く要望している。

## 新型インフル

# ワクチンに助成を助成を検討／住民課長

**問** 新型インフルエンザが全国的に流行しており、本県でも死亡者が出た。

妊婦や乳幼児、慢性の呼吸器疾患や心臓疾患、糖尿病などの方が感染すると重症化も考えられ、ワクチン接種が優先されている。接種費用の助成を考えているか。

また、学童に発生した場合の対応は。

### 藤原住民課長

ワクチン

接種の費用は担当課としては助成したいと考えている。保育所は休業措置とした上で、感染リスクを説明し了解してもらってあずかるが、0歳児はあずからない。

### 西森教育長

学校内で1人感染の場合は本人のみ7日間の出席停止。学級で1割を超えたら学級閉鎖。複数の学級で発生したら学年閉鎖。複数の学年なら学校閉鎖となる。

## 災害への備えと点検

**問** 本町は地すべり地域があり、豪雨と地震が重なる大きな災害が考えられるが、点検はしているか。

清助、桐見川中峰、小浜は、緊急に対処しなければならぬと思うが、対応をどうするか。

## ほとんどが危険地域

### 小田産業建設課長

ゲリ

ラ的集中豪雨に対しては、市街地を除いてほとんどが危険地域と認識している。

地すべり防止対策工事は谷ノ内と楠神で行っている。道路の危険箇所にはピンを設置して、動きはないかパトロールをしている。

清助はアンカー工法で、中峰は町道の補強と排水路

## その他の質問

**問** 農産物の貿易自由化が実現すると農業は成り立たない。

**答** 所得補償などの新たな政策もあるが、動向を見て対応する。国へ働き掛け、できる限り支援する。

**問** 急速に進む高齢化への対策は。

**答** 限界集落が多くなり、桐見川地区で調査する。

**問** 二酸化炭素の削減を強力に推進せよ。

**答** やるには、体制づくりが必要だ。学校や公民館活動、広報での啓発などを続け、意識付けに努める。

### 吉岡町長

民主党のマニフェストは、ガソリン税などの暫定税率の廃止、4年間は消費税を上げない、全国の無駄遣いの見直し、高速道路の無料化、子供手当

**問** 民主党政権が誕生し、平成21年度補正予算を凍結することだが、本町への影響はないか。町村会長としてどのように取り組むのか。

また、公共事業を費用対効果だけで査定されると地方の道路はできない。「命の道」の重要性を訴えて査定方法の変更を求める考えはないか。



高速道1000円効果か。宮ノ前公園へ向かう車で一杯

越知道路

# 野老山工区の 完成後は動きがない 完成時期は大幅な遅れ／町長



さいとう まさひろ  
齋藤 政広 議員

のようになったのか。  
「高知西バイパス」の進捗状況はどうなっているか。

**吉岡町長** 「越知道路」は正直言って進展がない。

国へは計画どおり進めるよう愛媛県との合同や本県だけでも強力で要請しているが、明確な回答がもらえず、うまくいっていない状況だ。

国と県で決めた25年度前後1年に完成という時期は大幅に遅れそうだ。

計画のルートを見直して国道33号を使って安価な工事といった案も聞こえてくる。

「高知西バイパス」は、仁淀川に橋が架かり現在も工事中である。枝川から鎌田までの用地は90%買収したと聞いている。

**問** 国道33号「越知道路」は野老山工区の完成後、動きがないようだ。  
平成19年6月議会では、24―26年度に完成とのことだったが、変更になったのか。また、強力で推進していくとのことだったが、ど



将来の周辺整備はどうなる

桐見ダム

## 周辺整備の今後は 県の姿勢に不安／町長

**問** 桐見ダム周辺整備について、県と協議はしたのか。

管理協定は今も続いているのか。ダム周辺の整備は今後どうするのか。

**吉岡町長** 県と協議をしたが、県の姿勢を心配している。県の責任を明確にし、今後の改善を図るよう努力をする。

管理区域は町が管理しているが、県の管理区域は手入れができていないので、町が初めての試みで桜に巻きつけたカズラの伐採を計画し、県にも協力を求めたが、参加はなかった。

県は、予算がないので、できる範囲は職員ですることだった。期待していた成果は表れていない。

**小田産業建設課長** 管理協定は継続しており、町の管理区域は町が管理しているが、県の管理区域は手入れができていないので、町が初めての試みで桜に巻きつけたカズラの伐採を計画し、県にも協力を求めたが、参加はなかった。

## 新過疎法の制定は

**問** 新過疎法制定に向けて、国会議員も命をかけて取り組むとか継続は間違いないとの回答をもらっているとのことであったが、民主党政権になり、新たな取り組みも必要ではないか。また、高知県町村会長としてどう動くのか。

地域の実情に合った運用のできる事業は検討したのか。

## 実現に努力

**吉岡町長** 全国の町村会とともに運動をしているが、衆院選前に自民・民主両党本部を訪問し、使い勝手の

良い新しいものにと要望している。

過疎法の期限も迫っており、政権が変わったので引き続きスピードアップを図り実現に努力したい。

## 前回は全会一致

**片岡副町長** 全国過疎地域自立促進連盟では、当選した国会議員全員に新たな過疎対策法の制定に関する要望書を送ると聞いている。民主党の対応は不明だが、前回は与野党全会一致で議決しており、今回も制定は間違いないと思うが、内容は今の段階では分からない。



改良工事が進む山室線



おかばやし ゆきまさ  
岡林 幸政 議員

# と今後の行く末は

## 借金を個人保証

**問** 3人の町長が個人保証をして、(株)ソニアがコスモス農協から6000万円を借りている。この借金は、(株)ソニアが仁淀川森林組合へ貸している金を担保にしている。このことは議会へ話もなかった。

**答** コスモス農協からの借金は、3人の町長が信用で借りたもので、町には関係なく、ソニアが解散すれば、当然私財で支払うべきだ。

6000万円の返済について、広域議会では専務(退職)が毎月50万円払っていると答弁し、3町議員協議会では町長が年400万円払っていると聞いたが、どちらが正しいか。

## 年400万円を返済

**吉岡町長** 借入金は、農協からの6000万円の1件で、年400万円ずつ返している。森林組合へは2件の貸し付けがあり、広域での答弁の50万円は、森林組合から返してもらっている金額である。

## 責任は出資の範囲

**問** 総出資額を超えて金を借りることができないということだった。

**答** 町の負う責任はあくまで出資の範囲内であり、これを超えた責任はないことを明確にしておく必要がある。また、当座の開設は行うのか。

## そのとおりだ

**吉岡町長** 言うとおりで、そのとおりやってきた。当座は、金の動きがわからなくなるので、個人的にはするつもりはない。

## 県の助言

**問** 県は、「会社が破綻すれば3町長に責任がある」と助言したとのことだが。

## 聞いてない

**吉岡町長** 一度もそのようなことは聞いていない。

## 増資は反対

**問** 3億円を追加出資して、今までの借金を済ますとのことだが、大多数の町民が反対すると思う。

**答** 仁淀川町は、解散の方向性のようだが、どう考えるか。

## 存続を願う

**吉岡町長** 町民がどう思うかよりも、15年余り続けて、40人以上の雇用もあり、この会社の存続を願うもので、了解がもらえないならやむを得ない。

## 補助事業は合意か

**問** 平成18年に、佐川町が県の補助事業でソニアの施設整備を行っていたが、3町合意で行ったものか。

**答** このとき公庫資金を5810万円借り入れているが、実績報告書には3926万4000円しか記載されていない。この差額はどうか。

**問** また、本町が過疎債を借りて投入していないか。

## 3町の合意

**吉岡町長** 林業構造改善事業を取り入れたということ、3町合意の上だ。過疎債は発行していない。

## 借金等も3町に

**小田産業建設課長** 佐川町に事業所があるため、佐

川町が窓口になって手続きをしている。

公庫資金は、補助事業対象分が3926万4000円で、差額の約2000万円は、補助事業とは別に乾燥機を2台買っているとのことだ。

3町合意の事業であり、残った借金等は3町に掛かってくると思う。

## 解散時の負債は

**問** ソニアは解散をすべきだと思うが、解散した場合の負債額はどれくらいになるか。

## 約1億数千円

**吉岡町長** 今は見当がつかないが、およそ1億数千円が残ると思う。



今後の存続が危ぶまれている

# 株式会社ソニア

# 経営難の責任



たけち りゅう 議員

## 倒産寸前の状態だ

**問** ㈱ソニアは15億円もあつた資金をほとんど使い果たして、倒産寸前の状態だ。

バブル崩壊後の金利の低下と製材事業への参入が経営悪化の原因と言うが、経営者は責任を果たすためにどういうことをしたのか。また、県など外部からの指導や助言のうち実行していないものはないか。

## 力不足で痛恨の極み

**吉岡町長** 経営責任者は取締役、監事までと理解している。

平成10年に取締役になった時点で、すでに1億7000万円赤字が出ていた。不正や法令・定款に違反はなく、一生懸命やってきたが力不足で結果的に多くの方に迷惑をかけることになり痛恨の極みだ。

赤字抑制のため、県と工科大学から技術力のアップ、交代制への転換、労働時間の合理化、職員の規律是正、作業工程の改善などの指導を受けた。

その結果、歩留まり率と技術力は大きく向上した。町長をしながら取締役をやることに問題があつた。

## 解散して出直せ

**問** 町長職との兼務に問題と気付いた時点で手を打たなかったことが一番の問題だ。

19年に県から専従の経営者を全国募集しても置くようにとの助言があつたと聞くが、なぜ置かなかつたのか。

総務省の「第三セクターに関する指針」に、地方公共団体による点検評価と改善策の検討があるが、行ったか。

JACコスモスから6000万円の借金を4人(3町長と退職した専務)の役員が裏保証したことは、総務省の指導を無視した行為で問題だ。この際ソニアは解散して出直すべきだと思つた。どう判断しているか。

## 出直しは困難

**吉岡町長** 「県外から経営者を募集して置くように」



という指導を受けた記憶はない。

役員体制の立て直しは何度も検討したが、人材がなかつた。もつと努力する必要があると反省している。

ソニアの点検は、本町はしていない。

出直すことは難しいだろうと思う。

## 地域おこしの基本戦略

### 元気集落の活動を広げる／総務課長

**問** 地域の活力は、今後ますます衰退していく。

限界集落になつてからは活性化が難しいので「地域おこし協力隊」などを活用して基本戦略を立てて取り組むときと思うが、どのように考えるか。

## 大原総務課長

限界集落は29集落になつている。

そこに暮らす人々の安全・安心の確保や利便性の供与、日々生き生きと暮らせることを考えていかなければならない。

清水、日ノ浦、桑敷など比較的元気な地域の活動が、他の地域へ広がるようにしたい。

## 小田産業建設課長

生活基盤の整備を最優先に、集落間連結の道や生活水を守るための道、防災基地への道などを進めている。

## 吉岡町長

集落はやがて高齢化するので、地域おこし協力隊の活用は検討してみたい。

## 観光への取り組み

**問** 観光振興の基本計画と推進組織づくりに取り組む考えはないか。

「情報ステーションおち」

は、具体的にどのような観光事業をどのように展開する計画か。

## おち駅をメインに

**吉岡町長** 県の産業振興計画で進めており、そのメインが越知駅だ。

農業や観光など、本来の意味の情報と産業の振興の組み立てをしていきたい。

## 3年後は3万人増

## 小田産業建設課長

町・県・観光協会等で、地域の観光の洗い出しと強み・弱みなど、情報の整理をしている。

3年後には町への入り込み客を3万人くらい増やす計画だ。

実情に応じて各地域の方々や体験グループにも加わってもらう必要があると考えている。

## その他の質問

**問** 優良賃貸住宅「ラピュタ」の家賃補助の短縮はできないか。

**答** 県の住宅供給公社が、管理期間は30年と決めているので難しい。

議会です  
こんにちほ

# パステル画で心のいやし

伊藤教室(6区)

芸術の秋にふさわしく、伊藤信晃さんの絵画教室にお邪魔しました。

伊藤さんは油絵を60歳ごろから始め、5、6年前からこの教室を開き、毎日、3、4人に午前中2時間で総勢30人くらいに教えています。生徒さんは、退職後に始めた方が多く、絵を描くのは中学生以来という方が大半です。

本の挿絵や自分で撮った写真などをパステル画で模写する方法ですが、油絵風から水彩画風のものまで、どれも素晴らしい作品に感動しました。



自信作を手に先生を囲む



真剣に制作に励む



「皆さん弟子越しですよ」と伊藤さん



伊藤さんの印象を生徒さんたちは、「話していてホッとしてくれる」、「絵だけでなく話題が豊富で人生の勉強になる」、「教え方が上手で、壁にぶつかっても先生の助言で一瞬に解決する」と述べられ、伊藤さんの人柄の良さが伝わってきました。

展示会は、町文化祭や横倉山博物館、町外量販店・ホテルなどで行っているとのことですが、展示を終えた作品は、無造作に壁に立て掛けられており、もっと皆さんの目に触れる機会が増えることを願っています。

9月定例会の傍聴者は3人でした。

次の定例会は12月です。多くの方の傍聴をお願いします。

## 編集後記

昭和40年ごろの農業は、クワ、カマが主力だったが、輸入も少なく経営も十分に成り立っていた。今は、機械化が進み、昔を思うと遊びごとだが、安い農産物の大量輸入で価格の低迷が続ぎ、経営は苦しくなった。その結果、若者の農業離れが進み、田畑は荒れ放題となっている。

先進国では、食糧の6割余りを外国に頼っている国は日本だけだ。世界的に人口が増えている中で、このような政策が続くとは思えない。

自給率の向上や担い手の育成、経営が成り立つ実効性のある農政実現を望む。

《片岡》

編集・発行責任者

議長 片岡 清則

議会広報調査特別委員会

委員長 西川 晃

副委員長 岡林 学

委員 片岡 久一郎

委員 斎藤 政広

委員 武智 龍

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。